



第120号
平成31年3月1日

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様には、お子様が立派に成長され、今日の日を迎えられること、心よりお祝い申し上げます。そして、校長先生をはじめ先生方におかれましては、生徒たちをここまで温かく、時には厳しく導いてくださったこと、保護者を代表して心よりお礼申し上げます。

三年前、全道各地から置戸高校に入学し、楽しくも辛く、介護の勉強に邁進し、それぞれが大きく成長することが出来た三年間だったと思います。本当に良く頑張りました。

さて、卒業生の皆さんの高校生活は今日でゴールを迎えますが、まだまだ続く人生はスタートラインに立ったばかりです。今後も夢や希望に向かって全力でトライしてください。私は、大人とは、自ら考え解決出来る人だと考えています。若い皆さんがこれから生きていく上では、さまざまな困難や悩みにぶつかる時もあるでしょう。どんな困難に対しても、諦めることなく知恵を絞り行動し、解決して欲しいと思っています。どんな結果になろうと、努力を惜しまなかった結果であれば何度でもやり直しが出来ます。自らの行動に責任を持ち、全力でぶつかってください。ですが、人間が一人で出来ることには限界があります。周囲の人に協力を求めることも選択肢の一つです。皆さんの周りには友人や先生方、そして私たち親、力になりたいと思っている人が沢山います。そういった方々に、健全な姿勢で頼ることも大人として求められる重要な能力だと思います。反対に、困っている身近な方がいれば、自分の能力を最大限生かして手を差し伸べてください。

最後に、皆さんが自分で選択したことに責任を持てる自立した大人になり、周囲の方々と良い関係を作りつつ社会で活躍するような人たちになってほしいと願っています。置戸高校卒業生としての誇りを持ち、皆さん一人一人が輝かしい未来へ羽ばたいていくことを心から応援しています。

「輝かしい未来へ」

PTA会長 北原 敦志

「卒業によせて」

校長 坂本 浩哉

置戸高校福祉科14期生の生徒諸君、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。本日を持ちまして高等学校の課程を卒業、そして次なる人生の新たなステージに進むことになります。卒業生皆様の未来が希望に満ちたものになることをお祈りしています。また、保護者の皆様におかれましては、子どもを親元から離しての寮生活や遠方からのバス通学等、何かと気をもむことが多かったことと思います。3年間本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、現代は加速度的なグローバル化の進展やAIの発展など、激動の時代を向かえております。それに加え、昨今では毎年のように自然の猛威に晒されたり、わが国を取り巻く国際情勢の変化によって、政治や経済の方向性が見え難くなるなど、不確実性が増している時代とも言えます。このような時代を生き抜くためには、若者達は生涯にわたって学び続けながら、想定外のことであっても生き抜く力を身に付けていくことがとても重要です。そこでは、マニュアルに頼り過ぎず「金石の奇跡」の事例のように、いかなる時にもベストを尽くすことが、これから求められます。

置戸高校で三年間学び、その雄々しく立つ卒業生を大いに讃え、生徒諸君の育む若き夢を私たちPTAは、これからも全力で応援したいと思います。



「介護実習を終えて」 2年 K.H

私は今回の3週間の実習の中で自らの介護技術に自信を持てるようにするという目標をたてていました。私は移乗介助が一番苦手だったので、力を入れて行おうと思っていました。実際に利用者様を目の前にした際、自分が介助を行い、利用者様に何かあったら、骨を折ってしまったらと色々考えてしまい、介助することがとても怖くなりました。

学校で練習は行っていましたが、利用者様の役を生徒が行っていたため、実際の重さ、動き方などがわからず不安なまま介助を行いました。実際に利用者様に触れ介助を行って、とても利用者様の重さを感じました。その際私と利用者様の間に距離があったため重さを感じたのだと職員の方にご指導していただき、改善し次回に臨みました。それを繰り返し行っていくなかでどんどん自らの介助に自信が持てるようになりました。

最初は怖くて触れることもためらっていましたが、職員や利用者様と関わっていくなかで、怖いという気持ちが少し減りました。しかし、全く緊張感を持たずに接するのではなく、少しの緊張感を持ち介助していくことで、適当な介助にはならず、良い介助ができるようになると学ぶことができました。

「コミュニケーション実習を終えて」 1年 O.N

私は、1月28日から2月1日の5日間コミュニケーション実習をさせていただきました。私が行かせていただいた施設はデイサービスセンターで、1日に利用者様が40人位来ます。とても利用者様の人数が多く職員の方は忙しそうでした。1年生ではまだ身体介助はできず、コミュニケーションしか図れないため、上着やおやつ準備などをさせていただきました。また、私はコミュニケーションを図るのが苦手なため、初めは会話が続きませんでした。しかし、2日目になると少し慣れたということもありますが、職員の方にいただいたアドバイスを生かし会話が止まることなく話すことができました。

レクリエーションでは、鬼の格好をしたり、歌を歌うなどして利用者様を楽しませることができたと思います。この5日間は何をすると利用者様に楽しんでもいただくことができるのかということを考え、実践することができました。来年は身体介助をさせていただきますが、実習に行かせていただけるということに感謝の気持ちを忘れずに今後も頑張っていこうと思いました。



1年生の実習の様子



今後の行事予定

- 3/1 (金) 第53回卒業証書授与式
- 4 (月) 漢字コンクール
- 5 (火) 閉寮 (10日開寮)
- 入学者選抜業務 (7日)
- 8 (金) 臨時休業日
- 11 (月) 1年生生話講習会
- 12 (火) 2年生福祉校内模試 (13日)
- 13 (水) 学力向上実践事業学力テスト (1年)
- 14 (木) 寮大掃除、普通救命講習
- 18 (月) 個人写真撮影
- 20 (水) PTA役員会
- 22 (金) 修了式、離任式、大掃除
- 寮父母の会役員会
- 23 (土) 年度末休業 (31日)
- 閉寮 (7日開寮)
- 27 (水) 介護福祉士国家試験合格発表
- 4/1 (月) 年度始休業 (7日)
- 8 (月) 着任式、前期始業式、大掃除
- 9 (火) 入学式、入寮式



卒業生の皆さんへ
三年保護者代表 三浦 記美子

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

親元を離れての寮生活、往復二時間のバス通学、介護の授業と、初めてのことばかりで本当に大変だったと思います。その大変さを乗り越えて、今日を迎えられたこと、誇りに思います。本当に良く頑張りましたね。

中でも三年での七週間の施設実習は、今までにない経験をたくさんしたのではないでしょう。か。介護技術はもとより、「受容すること」「共感すること」を実際現場で学ぶことが出来たと思います。この経験は、皆さんのこれから大いに役立つことでしょう。また、この三年間ご指導し見守ってくださった先生方や、一緒に頑張った友達に感謝する心を忘れないでくださいね。

「若さ」とは最大の武器です。これから先、壁に当たることがあっても、その武器と置戸高校で培った根性があればきつと乗り越えられるはず。皆さんのこれからのご活躍を楽しみにしております。

最後にもう一度、ご卒業本当におめでとうございます。



卒業に寄せて
三年担任 三浦 玲奈

卒業生の皆さん、そして保護者の皆様方、ご卒業おめでとうございます。

退職した前任に代わり一年間担任をさせていただき、今改めて思うことは、沢山の方々に支えられ、ここまで来る事ができたということです。

保護者の皆様には三年間、あらゆる場面でご理解とご協力をいただき、そしてお子様の一番の応援団としていつも励まし、サポートしていただきました。最後まで温かく見守っていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

卒業生の皆さんにも感謝の気持ちでいっぱい。皆さんは、自分自身も励まされることがたくさんありました。どうか、自分を大切にできる人になってください。自分の気持ちと素直に正直に向き合える人になってください。そうであることで、人に優しくできたり努力ができる人間になれると思います。置戸高校卒業生としての誇りを持って、胸を張って新しい世界でますます活躍してください。

そして、置戸町の皆様には、最大限のご支援をいただき、生徒達が学業に専念できる環境をつくっていただきました。また、町の中でもいつも生徒達を気にかけていただき、見守っていただきましたこと、心よりお礼申し上げます。

最後になりますが、三年間、学校の諸活動やPTA活動にご支援とご協力を頂きました保護者ならびにPTA役員の皆様、置戸高校教職員の皆様、置戸町の皆様、多くの関係諸機関の皆様には改めて心より感謝申し上げます。



介護福祉士国家試験の受験を終えて

3年 I.H

私は勉強がとても苦手でした。初めての模試では、半分にも満たない点数でした。ろくに勉強もせず模試を受け続けていたため、点数は伸びるはずありませんでした。家庭学習もしていなかったため、私は放課後に先生と勉強をする強化選手に選ばれてしまいました。さすがにこのままではまずいと思い始め、家で真面目に勉強をしようと決めました。私は、まず自分の苦手な内容をノートにまとめることにしました。付箋に書き出し、ひたすらノートに貼っていきました。また、模試の設問を解説するだけではなく、分からない語句などを拾い上げ、まとめるように工夫しました。苦手なところをまとめたため、それを見ながら勉強していったところ、模試の点数が少しずつ伸びていきました。そして秋に受けた校外模試では、初の 90 点台を取ることができました。私は強化選手に選ばれていたにも関わらず、校内順位は2位という成績を収めることができて、とても嬉しかったです。

私はその達成感を味わったことで一気に心に火がつき、もっと上を目指したいと思えるようになりました。休みの日は夜中まで勉強し、学校がある日は放課後に残って勉強をし、家に帰ってからは家事などを全て終わらせてすぐに机に向かうようにしました。その小さな努力を積み重ねることで、模試では7割以上を取れるまでになりました。そして年が明けた頃には、90 点台や 100 点台を安定して取れるようになりました。ところが、国家試験前の最後の週は点数が伸び悩み、下がってしまうこともあって、このまま国家試験を迎えるのかと思うと不安に押しつぶされそうになりました。しかし、周りのみんなが一生懸命に努力をしている姿を見て、私もめげずに頑張ろうと思えました。国家試験当日も、クラスの皆の明るい雰囲気助けられ、試験室に入っても緊張に押しつぶされそうになることはなく、落ち着いて受けることができました。

勉強が苦手だった私がここまで努力できたのは、この学校に入学して最高の仲間と応援してくださる先生方に出会えたおかげだったと思っています。この感謝の気持ちは国家試験合格という形で返したいと思っています。

感謝の気持ち

3年 N.Y



私は、実家が置戸町から遠かったため、寮生として置戸町で3年間高校生活を過ごしました。入学当初は、初めての集団生活や福祉を勉強することなど多くの不安がありましたが、クラスメイトや先生方に支えられてここまでやってこられたと思っています。また、私は昨年に山口県で開催された介護技術コンテストの全国大会に出場させていただきました。出場にあたり、町長さんをはじめとする置戸町の皆さんの支援やたくさんの応援をいただき、本当に感謝しています。そのおかげで、全国へ行くことができたと思います。

学校生活では、先生方からの3年間の手厚いご指導があったからこそ今の私達があり、国家試験にも自信を持って臨むことができました。これまで支えてくれた先生方や両親、地域の方々に感謝の気持ちを持って、春からは福祉という面で社会に貢献していきます。今まで育ててくれた両親には、これまでの恩を返していけるように、今まで以上に親孝行していきたいです。



三年進路決定状況

今年度の進学・就職先は次のとおりです。

〔進学〕

■大学

- ・星槎道都大学社会福祉学部社会福祉学科社会福祉専攻
- ・日本医療大学保健医療学部看護学科
- ・日本赤十字北海道看護大学看護学部看護学科

■短大

- ・旭川大学短期大学部生活学科食物栄養専攻

■専門学校

- ・札幌こども専門学校保育科保育士・幼稚園教諭コース

〔就職〕

■管内

- ・置戸赤十字病院
- ・社会福祉法人置戸町社会福祉協議会
- ・社会福祉法人きたの愛光会特別養護老人ホームこもれびの里みわ

- ・社会福祉法人恵和福祉会特別養護老人ホームいちいの園
- ・社会福祉法人恵和福祉会特別養護老人ホーム緑の苑
- ・社会福祉法人治恵会特別養護老人ホームくつろぎ
- ・社会福祉法人めぐみ会特別養護老人ホーム北寿園

■道内

- ・医療法人社団いずみ会介護老人保健施設北星館
- ・株式会社E.N.E.O.Sウイング北海道支店
- ・株式会社らくらケア有料老人ホームらくら拓北老番館
- ・社会福祉法人栄和会特別養護老人ホームひらおか梅花実
- ・社会福祉法人寿光会特別養護老人ホームヴィラ・プラタナス
- ・社会福祉法人ふれんど特別養護老人ホーム明德
- ・メディカル・ケア・サービス北海道株式会社愛の家グループホーム

五十音順

